

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 岡山市立南輝小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒702-8023  
岡山市南区南輝3丁目6番9号

E-mail nankis@city-okayama.ed.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 286名 女子 254名 合計 540名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

##### 【1年生】

日時：平成28年10月7日9:00~10:30  
場所：南輝小学校(体育館、運動場など)  
参加対象者：児童(1年生)、保護者、地域の方  
人数：児童84名、保護者・地域の方45名  
内容：保護者や地域の方から、けん玉、めんこやコマなどの昔遊びを教わったり、その遊びを一緒に楽しんだりすることで交流を深める。



##### 【3年生】

日時：平成28年5月下旬~6月中旬  
場所：南輝小学校(草原、川、用水など)  
参加対象者：児童(3年生)  
人数：児童98名  
内容：理科の昆虫の授業やプールのヤゴ救出作戦  
1学期に一人一人が環境を通してして学校の周辺の生き物の様子を調べ、友達や保護者に発信した生き物の夏季休業後の様子について、再度経過を観察する。



##### 【6年生】

日時：平成28年度中 年間を通じて始業前や休み時間を中心に  
場所：南輝小学校(6年生各教室・校門・体育館・運動場)  
参加対象者：児童(6年生)、保護者  
人数：児童102名、保護者・地域の方90名  
内容：よりよい南輝小学校にするためにはどのような取り組みをすればよいかについて考え、「自分たちができること」を行動する。



## 2. 取組の成果

### 【1年生】

地域のお年寄りや地域ボランティアの方々と一緒に、七夕飾りを作ったり、昔の遊びを一緒に行ったりしながら、交流を重ねてきた。交流後、活動を振り返り、お世話になった方々にお礼の手紙を贈ることで、自分の気持ちを伝えたり、自分の成長を感じたりする機会を設けた。この活動を通して、児童は、地域の方に感謝の気持ちをもつこと、感謝の気持ちを表すこと、自分が地域のいろいろな人とつながっていると実感することができる考えた。児童は、毎回、地域の方々との交流をととても楽しみにしており、地域の方々からだけでなく、児童から地域の方々に話しかけたり質問したりするなど、積極的な関わりも数多く見られた。活動後、児童は以下のような手紙や日記を書いている。

（七夕飾りを作る会（7月）後のお礼の手紙）

「おばあちゃん、ほしがたをおしえてくれてありがとう。おねがい、かなうかな。」

「おじいちゃん、ちょうちんの作りかたをおしえてくれてありがとう。いっしょにたなばたかざりをつくれてうれしかったよ。」

（学習発表会で、練習を重ねた昔遊びを披露できた児童の日記）

「きょう、がくしゅうはっぴょうかいのむかしあそびで、おてだまをしました。れんしゅうのときは、いっばいおちたけど、ほんばんでは、いっかいもおとしませんでした。うれしかったです。きもちいいはくしゅをもらって、またうれしかったです。」

子どもたちは活動を通して、地域や社会にはどんな人がいるのか知り、一緒に活動することで心を交流させ、自分の成長を感じたり、地域の方々に感謝する気持ちを育てたりしてきた。このような体験が、地域や地域の方々、自分を大切にする気持ちを育て、以後の活動へと引き継がれて、自分たちで交流を進めていく力になると思われる。



### 【3年生】

校内にいる生き物を観察することで、身のまわりにいる生き物に関心をもち始めた児童が、清掃前のプールに入りヤゴの救出を行った。そして、救出したヤゴを自宅や学校で羽化するまで観察・飼育する活動に取り組むことで、身近にいる小さな生き物が生きていくための持続可能な環境について考えたり、地域の環境問題について自分で考えたりする機会になると考え。

（ヤゴ救出作戦）ヤゴがさなぎになり、羽化する様子を間近に観察することで、命の尊さが実感できたようだ。

その後、一人一人が身近にいる小動物や昆虫、植物などの生き物の一つを選び、図鑑やインターネットを活用して情報を収集し、環境とのかかわりを友達や保護者に発信した。友達の発表を聞くことで自分が調べた生き物だけでなく、他の生き物にとっても環境は大切だということに気づくことができた。また、夏季休業をはさんで、一人一人が調べ学習をした小動物や昆虫、植物のその後の様子について、網やかごなどの道具をもち、再度経過を見に行くことで、



生き物と環境との関わりについて横断的な見方や考え方ができるようにした。そうすることで地域の環境を守ろうとする実践力を育てることにつながると考える。

### 【6年生】

南輝小学校では6年生が総合学習として『南輝かがやき隊』に取り組みました。児童は今までの6年生が『かがやき隊』として活動する姿を見ているので、6年生になって初めての総合学習の時間には、学校全体だけではなく、南輝学区全体がよくなるような取り組みをしたいという発言が多く出ました。

授業で話し合っていくうちに、南輝小学校と南輝学区のどちらも明るく元気にできるのは『あいさつ』だという意見が多く、『あいさつをすれば笑顔も増える』という意見にまとまりました。そこで1学期の『かがやき隊』は『あいさつ運動』をすることになり、朝の登校時間に取り組みました。あいさつ運動の時の様子や感想を給食時間に放送で伝えることであいさつの声もどんどん大きくなってきたように感じています。地域の方も登校時間に見守りで出てくれているので、あいさつの輪がどんどん広がっているように思います。

2学期には、あいさつ運動に加えて、低学年対象に本の読み聞かせをしたり、校内のボランティア清掃、休み時間に交流遊びをしたりしようと計画を立てて『かがやき隊』の活動を実行しました。子どもたちが活動する姿を見、人と人の繋がりを大切にした南輝学区をめざした『南輝かがやき隊』の取り組みが子どもたちへの未来へ、そして南輝学区の未来へと繋がっていくことになるだろうと感じました。



### 3. 今後の課題（次年度への引継やより充実した内容にするために）

南輝小学校では、上記の3年生のように、どの学年もより充実した内容にするために年間計画を見直しながら、取り組んでいる。また、新たな地域とのかかわりを模索しており、常に新しい取り組みへのチャレンジと見直しが大切だと考えている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）